

非常用発電設備点検項目

点検項目(ディーゼル用)		点検項目(ガスタービン用)
1 機関の点検 (点検実施内容)		1 機関の点検 (点検実施内容)
燃料タンクの油量		1 設置状況
燃料タンクドレン抜き		2 パッケージの変形、腐蝕
燃料油コシ器フローオフ		3 原動機の損傷、漏れ等
潤滑油コシ器フローオフ		4 発電機の変形、塵埃等
冷却水タンクの水量		5 蓄電池の外観、電圧、液面
ホールストップ弁の作動		6 パッケージ内計器の指示
機関潤滑油の成分		7 燃料タンクの損傷、漏れ等
機関潤滑油の油量		8 燃料タンクの油量レベル計
過給機潤滑油の油量		9 排気筒の変形、漏れ
弁腕注油タンクの油量		10 発電機基礎ボルトの緩み
ガバナ潤滑油の油量		11 カップリングボルトの緩み
発電機軸受の油量		12 原動機の潤滑油量
摺動部の注油		13 発電機の起動停止
ブライキングピストンの作動		14 計器類
温度調整弁の作動		15 換気装置の作動
空気配管の漏れ		16 プラケットの傷等の汚れ
運転中の異常音		17 テープヒーターの状態
運転中の振動		18 点火プラグ点検
機関各部の温度		19 ミストレター点検
軸受オイルリングの作動		20 燃料ノズル、スプレー点検
運転中の排気色		21 EAC点検
機関各部の水漏れ		22 保護装置試験、表示警報
機関各部の油漏れ		
始動空気槽の圧力		2 始動試験 (9・3月実施点検内容)
空気圧縮機の潤滑油量		1 始動試験
空気圧縮機の冷却水量		2 停止試験
空気圧縮機の異常音の有無		3 起動容量試験 (9・3月実施点検内容)
各部ボルトの増締め		
機関各部の清掃		4 ガスタービン機関試験 (9・3月実施点検内容)
弁頭スキマ点検		
		5 非常停止試験及び保安警報装置試験
2 保護装置動作試験 (9・3月実施点検内容)		
潤滑油の圧力低下		6 消防設備点検 (9・3月実施点検内容)
冷却水の温度上昇		1 非常電源 (自家発電設備)
冷却水の断水		
過速度		※ 点検項目は、消防用設備点検の非常電源点検
始動渋滞		票の様式の内容で、9月と3月に実施
非常停止		
過電圧		
過電流		
逆電力		
不足電圧		
燃料槽油面低下		
冷却水槽水面低下		
空気槽圧力低下		
3 補助機器 (毎月実施点検内容)		
燃料油移送ポンプの、自動発停		
空気圧縮機の、自動発停		
4 その他 (毎月実施点検内容)		
無負荷運転		
5 消防用設備点検 (9・3月実施点検内容)		
非常電源 (自家発電設備)		
※ 点検項目は、消防用設備点検の非常電源点検		
票の様式の内容で、9月と3月に実施		

無停電電源設備点検項目 (CVCF装置)

点検項目	点検方法	判定基準
【外観点検】 1. 抵抗器の変色、変形有無の確認 2. コンデンサの変色、変形、液漏れ及び、防爆弁の異状有無の確認 3. 半導体スイッチ類の変色、損傷有無の確認 4. 継電器、接触器の接点荒れ、コイルの変色有無の確認 5. プリント基板の部品変色、折損、コンデンサの液漏れハンダあげ状況の確認 6. ヒューズの過変色有無の確認 7. 冷却ファンによる変色有無の確認 8. 配線類の熱による変色、腐蝕有無の確認 9. ボルト、ナット、その他のネジ有無の確認 10. トランス、リアクトルの変色、過熱有無の確認	目視 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	異常がないこと。
【締付点検】 1. 主回路部品の接続ボルト増締 2. 制御回路部品の接続ボルトの増締 3. 制御回路部品のハンダあげ状態の確認 4. 端子台の接続ボルトの増締 5. 機器取付けボルトの増締 6. 盤内接続ボルトの増締 7. コネクター挿入状態の確認 8. ウィンチスター、キャンブルプラグ等のピン挿入状態の確認 9. 絶縁距離の確認	トルクレンチ スパナー ドライバー 目視、感触 専用工具	異常がないこと。
【絶縁抵抗を測定】 1. 絶縁抵抗を測定する。	接地コンデンサ、ラインフィルター等のアース端子を外し又半導体素子、ケミコン、静止形器具等を同電位とさせ測定を実施する。	異常がないこと。
【電解コンデンサ容量測定】 1. 容量の測定	コンデンサの配線を外し、専用測定装置により測定する。	異常がないこと。
【ゲート回路点検】 1. ゲート電源電圧の測定 2. 発振器周波数の確認 3. 各部動作表示の確認 4. 主回路素子のゲート波形（電圧、電流）の確認（充電器回路も含む。）	1. ゲート回路を単独運転させ各電源を電圧計にて測定する。 2. 2～4ゲート回路を運転又は停止中に、左記内容をシクロスコープ等にて測定する。	異常がないこと。
【保護運動試験】 1. 運転停止及び、故障シケスの確認 2. 各保護回路の設定値の確認	展開説明図に記載された操作手順により、運転停止及び等価シケスを実施する。 各種保護継電器の、設定値に対する動作値を測定する。	展開説明図の通り動作表示警告等が正常であること。 設定値に対する動作値の誤差が、許容値以内であること。
【無負荷運転試験】 1. 主回路各部波形の確認 2. 運転中主回路機器の確認 3. 電圧、電流の測定	1. シクロスコープにより、波形観測 2. 目視、触手、臭覚、聴覚 3. シクロスコープ、電圧計により測定	異常がないこと。 展開説明図及び仕様書による。
【停電試験】 1. 停電切換試験	入力断にて、下記ものを測定する。 1. AC入力 2. 直流電圧 3. バッテリー接続サリカ電圧 4. 出力電圧 5. B-OFF用コンデンサ電圧	異常がないこと。
【電源切換試験】 点検項目 1. 手動切換 2. 自動切換（故障）	点検方法 「手動操作により」 CVCF→予備電源へ移行させ下記ものを測定する。 「故障により」 CVCF→予備電源へ移行させ下記ものを測定する。 1. CVCF出力電圧 2. 予備電源電圧 3. 負荷電圧 4. 切換信号	判定基準 切換時間が仕様書にて規定の値になっていること。